

平成 29 年度 全学共通科目に関する調査（学生対象）

調査概要 全学共通科目のうち，“四国大学スタンダード”の修得に向けた導入授業科目である「社会人基礎力入門」，「初年次ゼミⅠ」，「初年次ゼミ」，「自己と社会・地域論」，「初年次ゼミⅡ」の5科目について，学生を対象とした授業前後のアンケート調査を実施した。調査では，1回目授業時（教育前）と15回目授業時（教育後）で同一の調査用紙を使用することにより，教育前後の比較を行った。なお，今年度より学生番号の記入欄を設け，教育前後のペアデータとした。

調査時期 前期：2017年4月（1回目授業），2017年7月（15回目授業）
後期：2017年10月（1回目授業），2018年1月（15回目授業）

調査対象 大学1年生：「初年次ゼミⅠ」「社会人基礎力入門」「初年次ゼミⅡ」「自己と社会・地域論」
短期大学部1年生：「初年次ゼミ」「社会人基礎力入門」「自己と社会・地域論」

調査内容 科目ごとにシラバスの到達目標に基づく17～33項目の設定問を設定し，「あてはまらない」（1），「あまりあてはまらない」（2），「どちらともいえない」（3），「ややあてはまる」（4），「あてはまる」（5）の5段階で回答を求めた。

「初年次ゼミⅠ」（前期）

- ①大学生生活の心構えについて（9項目）
- ②ノートテイキングやリーディングについて（4項目）
- ③情報収集について（3項目）
- ④レポート小論文などの文章技法について（5項目）

「初年次ゼミ」（前期）

- ①大学生生活の心構えについて（9項目）
- ②ノートテイキングやリーディングについて（4項目）
- ③情報収集について（3項目）
- ④レポート小論文などの文章技法について（5項目）
- ⑤プレゼンテーションの基礎技法について（3項目）

「社会人基礎力入門」（前期）

- ①基礎学習力や社会人マナーについて（9項目）
- ②情報リテラシーについて（8項目）

「初年次ゼミⅡ」（後期）

- ①プレゼンテーションやディスカッション、ディベートについて（8項目）
- ②グループワークについて（4項目）
- ③情報の扱い方について（4項目）
- ④将来について（4項目）

「自己と社会・地域論」（後期）

- ①あなた自身について（18項目）
- ②地場産業について（3項目）
- ③地域活動について（4項目）
- ④企業・組織について（4項目）
- ⑤グループディスカッションについて（4項目）

調査結果 各科目のアンケート回答者数は下記の通りであった。

科目名	教育前（1回目授業時）				教育後（15回目授業時）			
	男	女	不明	合計	男	女	不明	合計
初年次ゼミⅠ	173	423	1	597	151	374	1	526
初年次ゼミ	36	175	0	211	31	152	1	184
社会人基礎力入門	204	605	0	809	139	422	1	561
初年次ゼミⅡ	156	397	0	553	144	355	0	499
自己と社会・地域論	188	582	0	770	163	515	2	680

結果の概要

「初年次ゼミ I」

4 項目群のうち、〈ノートテイキングやリーディング〉、〈情報収集〉、〈レポート小論文などの文章技法〉の全ての項目で教育後に有意にポイントが上昇しており、多くの学生が習得の実感を得ていたと考えられた（表 1）。〈大学生活の心構え〉のうち、「大学生活が充実するように心がけている」、「有効な時間の使い方を心掛けている」では教育前後で差がなく、「大学生活での具体的な目標がある」では有意に下がっていた。引き続き、教育効果を高める方法を検討する必要がある。

表1. H29「初年次ゼミI」授業前後の自己評価の比較

質問項目	n	教育前 平均	教育後 平均	教育前 後の差	p値
a. 大学生活について					
高校生活との違いを説明できる	516	3.82	4.18	0.37	***
大学生活が充実するよう心がけている	517	4.21	4.16	-0.06	n.s.
大学生活での具体的な目標がある	518	4.18	4.07	-0.11	**
目標に向けて具体的に行動している	515	3.44	3.54	0.09	*
時間管理の重要性を説明できる	518	3.46	3.78	0.33	***
有効な時間の使い方を心がけている	518	3.61	3.62	0.01	n.s.
自分なりの学習習慣がある	517	2.98	3.20	0.21	***
学科をこえて、人間関係を築いている	515	3.30	3.63	0.33	***
大学での学びが社会とつながっていることを説明できる	512	3.06	3.54	0.48	***
b. ノートテイキングやリーディングについて					
自分なりに工夫してノートを作っている	517	3.27	3.62	0.35	***
講義中は要点をつかんでノートを取ることができる	518	3.19	3.47	0.28	***
リーディングについての基本的なスキルを説明できる	518	2.48	3.14	0.66	***
話の中心を把握して文章を読むことができる	518	3.07	3.50	0.43	***
c. 情報収集について					
積極的に情報を得るよう心がけている	518	3.58	3.79	0.21	***
様々な情報収集の方法を説明できる	518	3.18	3.83	0.65	***
情報収集のため、積極的に校内施設を利用するようにしている	516	2.75	3.29	0.53	***
d. レポート小論文などの文章技法について					
レポートと感想文の違いを説明できる	518	2.80	3.91	1.11	***
文章構成に気をつけながらレポートを書くことができる	518	2.95	3.62	0.67	***
レポート作成の手順を説明できる	517	2.09	3.38	1.30	***
情報収集で得た材料を整理してレポートを書くことができる	518	2.84	3.54	0.70	***
分かりやすい文章を書くよう心がけている	505	3.64	3.99	0.35	***

t検定 *: p<0.05, **: p<0.01, ***: p<0.001

「初年次ゼミ」

5 項目群のうち、〈情報収集〉、〈レポート小論文などの文章技法〉、〈プレゼンテーションの基礎技法〉の項目では教育後に有意に値が高くなっていた（表2）。〈ノートテイキングやリーディング〉では、「講義中は要点をつかんでノートを取ることができる」の項目では有意な差は見られなかったが、そのほかの項目は有意に高くなっていた。〈大学生活の心構え〉では、初年次ゼミ I と同様に、教育前後で差がない項目や有意に値が下がっている項目が見られた。

表2. H29「初年次ゼミ」授業前後の自己評価の比較

質問項目	n	教育前 平均	教育後 平均	教育前 後の差	p値
a. 大学生活について					
高校生活との違いを説明できる	179	3.74	4.11	0.37	***
大学生活が充実するよう心がけている	179	4.21	4.04	-0.17	*
大学生活での具体的な目標がある	178	4.15	4.01	-0.14	n.s.
目標に向けて具体的に行動している	179	3.69	3.62	-0.07	n.s.
時間管理の重要性を説明できる	179	3.44	3.61	0.18	*
有効な時間の使い方を心がけている	178	3.74	3.67	-0.06	n.s.
自分なりの学習習慣がある	178	3.13	3.19	0.06	n.s.
学科をこえて、人間関係を築いている	178	3.26	3.42	0.16	n.s.
大学での学びが社会とつながっていることを説明できる	178	3.17	3.48	0.30	***
b. ノートテイキングやリーディングについて					
自分なりに工夫してノートを作っている	178	3.22	3.44	0.22	*
講義中は要点をつかんでノートを取ることができる	179	3.19	3.35	0.16	n.s.
リーディングについての基本的なスキルを説明できる	178	2.33	2.98	0.65	***
話の中心を把握して文章を読むことができる	179	2.97	3.32	0.36	***
c. 情報収集について					
積極的に情報を得るよう心がけている	179	3.55	3.70	0.15	*
様々な情報収集の方法を説明できる	179	3.02	3.68	0.66	***
情報収集のため、積極的に校内施設を利用するようにしている	177	2.66	3.09	0.44	***
d. レポート小論文などの文章技法について					
レポートと感想文の違いを説明できる	178	2.64	3.69	1.05	***
文章構成に気をつけながらレポートを書くことができる	179	2.90	3.44	0.54	***
レポート作成の手順を説明できる	179	2.09	3.40	1.30	***
情報収集で得た材料を整理してレポートを書くことができる	179	2.70	3.41	0.71	***
分かりやすい文章を書くよう心がけている	178	3.37	3.75	0.39	***
e. プレゼンテーションの基礎技法について					
プレゼンテーションの基本的なスキルを説明できる	179	2.26	3.26	1.00	***
全体の構成を工夫して効果的に説明できる	178	2.43	3.17	0.75	***
プレゼンでは話し方、視線、姿勢などに注意して説明できる	179	3.04	3.38	0.34	***

t検定 *: p<0.05, **: p<0.01, ***: p<0.001

「社会人基礎力入門」

多くの項目で、教育後に有意に値が高くなっており、特に〈情報リテラシー〉では多くの項目で0.5ポイント以上高くなっており、知識の習得を実感していたといえる（表3）。〈社会人としての基礎学習力やマナー〉の中では、社会人マナーに関する「他人に対する気配りができる」で有意に値が下がっていた。自己評価が分かれる項目であり、教育前後の変化が数値として現れなかった可能性が考えられる。

表3. H29「社会人基礎力入門」授業前後の自己評価の比較

質問項目	n	教育前 平均	教育後 平均	教育前 後の差	p値
a. 社会人としての基礎学習力やマナーについて					
社会人に必要な「読む・書く・聞く」という力を持っている	547	3.24	3.63	0.39	***
社会人に必要な基礎的な学力を身につけている	545	3.08	3.54	0.45	***
社会人に必要な道德観念を身につけている	546	3.57	3.83	0.26	***
社会人に必要な礼儀やマナーを身につけている	545	3.66	3.81	0.14	***
社会人として信頼につながる行動をとることができる	547	3.52	3.71	0.19	***
社会人としての身だしなみの大切さを理解している	545	3.88	4.10	0.22	***
状況に応じた適切な話し方ができる	547	3.66	3.79	0.13	**
正しい敬語がつかうことができる	547	3.31	3.54	0.23	***
他人に対する気配りができる	547	3.99	3.87	-0.12	**
b. 情報リテラシーについて					
様々な情報収集の方法を説明できる	547	2.80	3.61	0.80	***
時代による情報収集環境の変化を説明できる	547	2.63	3.55	0.92	***
目的に応じて情報を取捨選択できる	543	3.17	3.66	0.50	***
情報の信頼性を検証できる	547	2.79	3.40	0.60	***
ネット以外の有用な情報源を説明できる	544	2.96	3.68	0.72	***
ネット以外の情報源の利点と弱点を説明できる	545	2.98	3.66	0.68	***
サイバー犯罪とは何かを説明できる	545	2.55	3.33	0.77	***
著作権とは何かを説明できる	546	3.18	3.62	0.44	***

t検定 *: p<0.05, **: p<0.01, ***: p<0.001

「初年次ゼミ II」

全ての項目で教育後の値が有意に高くなっていた（表 4）。授業で実践を通じて学ぶ内容が多く取り入れられており、学生が授業内容の習得を実感しやすかったと考えられる。なお、授業前から既に値が高い項目があり（例えば「人が発表しているときは協力的に聞くことができる」）、より高度な内容を設定する必要があると考えられる。

表4. H29「初年次ゼミII」授業前後の自己評価の比較

質問項目	n	教育前 平均	教育後 平均	教育前 後の差	p値
a. プレゼンテーションやディスカッション、ディベートについて					
プレゼンテーションの基本的なスキルを説明できる	473	2.55	3.51	0.96	***
説得力を持った発表ができるよう意識している	472	3.11	3.76	0.65	***
聞き手を意識した発表ができる	471	2.99	3.57	0.57	***
人が発表している時は、協力的に聞くことができる	471	4.14	4.26	0.12	**
ディスカッションの基本的ルールを説明できる	471	2.58	3.43	0.85	***
ディスカッションに積極的に参加できる	471	2.73	3.38	0.65	***
ディベートの基本的ルールを説明できる	472	2.29	3.41	1.11	***
ディベートに積極的に参加できる	472	2.58	3.36	0.78	***
b. グループワークについて					
メンバーと協力してグループ活動に取り組める	472	3.80	4.06	0.27	***
グループの中で、自分の役割を意識して課題に取り組める	472	3.55	3.86	0.31	***
異なる意見を持つ相手とも、互いに納得できるように話し合うことができる	471	3.53	3.82	0.29	***
グループの中で、共通理解が得られるように話し合うことができる	472	3.45	3.77	0.32	***
c. 情報の扱い方について					
情報収集のスキルを身に付けている	472	3.33	3.65	0.32	***
情報整理の方法について説明できる	472	2.89	3.34	0.46	***
図や表から情報を読み取ることができる	472	3.46	3.76	0.30	***
目的に応じて図や表を活用することができる	240	3.22	3.63	0.41	***
d. あなたが考える将来について					
自分の将来像をイメージできる	472	2.98	3.37	0.39	***
卒業後の進路として、どのようなものがあるのかイメージできる	472	3.36	3.57	0.21	***
将来になりたい自分に近づくための具体的な計画を立てている	472	3.01	3.21	0.20	***
自分の将来のために必要となる、具体的な行動をとっている	472	2.98	3.17	0.19	***

t検定 *: p<0.05, **: p<0.01, ***: p<0.001

「自己と社会・地域論」

「自己」に関する項目では、教育前後の差がない項目や、教育後に値が低下していた項目も見られた（表 5）。これらの傾向は昨年度までと同様であり、単に習得度が低いわけではなく、単一の授業の中では変化が表れにくい項目であったといえる。「地域社会」領域では教育後に正方向の変化が認められた。

表5. H29「自己と社会・地域論」授業前後の自己評価の比較

質問項目	n	教育前 平均	教育後 平均	教育前 後の差	p値
a. あなた自身について					
自分に自信がある	647	2.46	2.62	0.16	***
少なくとも人並みには価値のある人間である	646	3.08	3.15	0.07	*
いろいろな良い素質をもっている	644	2.93	3.03	0.10	**
敗北者だと思ふことがよくある	643	3.11	3.13	0.02	n.s.
物事を人並みにうまくやれる	642	3.12	3.19	0.07	n.s.
自分には自慢できることがあまりない	646	2.74	2.75	0.01	n.s.
自分に対して肯定的である	647	3.02	3.02	0.00	n.s.
大体において自分に満足している	646	2.74	2.87	0.12	**
自分が全くだめな人間だと思ふことがよくある	645	2.95	3.00	0.05	n.s.
何かにつけて自分は役に立たない人間だと思ふ	643	3.12	3.11	-0.01	n.s.
大事な話の途中で口をはさまれたら、話が終わるまで待つてくれるように言う	646	2.42	2.43	0.01	n.s.
友達に頼み事をしたいときには率直に言う	646	3.74	3.67	-0.07	n.s.
好きな人には率直に愛情や好意を示す	644	3.35	3.49	0.14	**
友達のいいところを見つけたら率直に誉める	645	3.89	3.85	-0.04	n.s.
少人数の話し合いの場で進んで意見を述べる	644	2.93	3.10	0.17	***
好意を持った相手には自分から話しかける	646	3.08	3.23	0.16	***
他人から誤解されたら、誤解が解けるように話をする	646	3.65	3.62	-0.03	n.s.
自分に分からないことがあれば、説明を求める	647	3.67	3.70	0.03	n.s.
b. 地場産業について					
徳島県の地場産業が何かを説明できる	647	2.33	2.99	0.66	***
徳島県の地場産業の特徴を説明できる	647	2.10	2.78	0.68	***
徳島県の特色ある企業を複数挙げることができる	643	2.52	3.32	0.80	***
c. 地域活動について					
個人や団体、企業が、地域の中で連携する重要性を説明できる	647	2.46	3.13	0.67	***
個人や団体、企業が、実際に進めている具体的な地域活動の例を挙げることができる	647	2.20	2.96	0.77	***
様々な立場の人が協調しながら、地域づくりを進めることの意義を説明できる	645	2.39	2.99	0.60	***
個人や団体、企業が、実際に進めている地域活動に参加している	646	1.92	2.37	0.45	***
d. 企業・組織の仕組みについて					
NPOとは何かを説明できる	646	2.11	2.64	0.53	***
NPOが地域社会で果たす役割について説明できる	646	1.88	2.49	0.61	***
地域社会における企業の役割について説明できる	646	1.98	2.79	0.82	***
組織のライン部門とスタッフ部門の違いを説明できる	642	1.76	2.54	0.79	***
e. グループディスカッションについて					
メンバーが守るべきマナーについて説明できる	647	2.94	3.46	0.51	***
意見をまとめて結論を導き出すことができる	647	2.74	3.14	0.39	***
自分の考えをわかりやすく筋道を立てて話すことができる	647	2.66	3.09	0.43	***
他者の意見に耳を傾け、正確に理解することができる	647	3.37	3.61	0.24	***

t検定 *: p<0.05, **: p<0.01, ***: p<0.001

※逆転項目については、得点を逆転させて値を算出した。